

平成 26 年度山口県中学校音楽教育研究協議会（萩大会）

開会行事

1 山口県中学校教育研究会音楽部長あいさつ

山陽小野田市立高千帆中学校 校長 松浦 美彦

今日の研究大会を負担が大きいと思わず、ぎっくばらんに、お互いの授業を見せ合い日々の活力にしてもらいたい。先生方に少しでも還元できるように、本日は作曲家の若松歎先生をお呼びしている。会場である萩東中学校は学力も高く、先進的な学校である。授業中に使用している「ふりかえりシート」もすばらしい。今日は有意義な会議にしてもらいたい。

2 会場校校長あいさつ

萩市立萩東中学校 校長 池田 廣司

本日は遠路お越しいただきありがとうございます。授業では皆さまにも歌っていただき、ご協力ありがとうございました。松浦校長先生には、プレ授業からご協力いただき、ありがとうございました。このような大会が毎年行われていること、そして、音楽などは非常勤の先生が多いなか、たくさんの先生方の参加があることはすばらしい。各支部で今日のこの大会のことを伝えてもらいたい。

研究協議

1 授業者から

萩市立萩東中学校 教諭 藤井 梨沙

今日はありがとうございました。ご指導をいただきたいと思いますので、よろしく願いいたします。今日のクラスは素直で、男子は歌うことが好きである。羽目を外しがちではあるが、まとまっていて明るいクラスである。この学年は3年間音楽を教えてきて、人間関係もうまくいっている。そこで、高度な合唱曲に挑戦させた。「大地讃頌」や「初心のうた」は、拍子も旋律の重なりも難しいが、何とかやってきて、今日が最後の1時間だった。前回の授業では曲について考え、今回は深めることを目標にした。生徒はこちらが質問を投げかけなくても楽曲について考えており、力がついてきていることをうれしく思っている。

プレ授業の時に「音楽活動の時間をもっと増やした方がいい」との反省があり、改善してみたが今日は半分の時間ほどだった。最後のふりかえりでは「どうだった」と簡単に投げかけただけで終わってしまったことは反省である。

研修の身なので、たくさんの意見をもらい、勉強したい。

2 参観者から

埴 生：普段の発声はどうしているか。

授業者：ストレッチ→呼吸法→愛唱歌集7～8曲→教科書やコーラスフェスティバル→課題、ねらい

伊 佐：学習システムについて。めあて、課題、振り返りをするようになって変わったか。

授業者：昨年からはじめ、今年は本格的に。今年度は授業評価をし、子供たちとの距離が縮まった。週1回しか会えないので、楽しんでほしいし、次も楽しみにさせたい。

伊 佐：授業評価の質問5つは全教科共通か。

授業者：5番目は音楽独自のもの。

明倫小：久しぶりに中学生の声を聞いて血が騒いだ。これからも小・中連携していきたい。「めあて」は小6も同じようにしている。歌ってみて良かった所などを分かち合う。説明し合って理由も言う。要素などを使って、感じた心を発表させている。9年間で深めていけたらいいと思う。

周 東：「めあて」と「課題」の関連性は。設定の意図を教えて欲しい。

授業者：「めあて」はこの時間に達成させたい目標。

「課題」は自分自身で考えたいような、根拠を持って言えるような内容にしている。

岐 陽：「曲のもつメッセージ」は詞のことだけなのか。作曲者の意図は、曲の要素はどうか。楽曲の仕組みや、要素から核心にふみこむように。

あと、今日の授業のことを何点か気づきを言うと

- ・五線のないホワイトボードはないか。

使い勝手が良い。線の上に字を書くと見にくい。

- ・生徒が感じたことを自由に素直に発言していて良い雰囲気だった。生徒のつぶやきも良かった。育てている仕組みはあるか。

- ・最後の仕上げは指揮で引っ張るように。考えを指揮で引っ張り出すようにすると良い。

作詞者、作曲者の意図から楽曲はできている。

高千穂：9時間で大曲3曲をよくやっている。

授業者：1学期に指揮者などを決め、2学期から歌い始めた。

富 海：『「初心のうた」の意味をとらえ』は難しいと思うが、先生の意図や思いはどうか。

最後のBassの音は難しいのではないか。

大曲をしているが、1曲1曲の完成度はどうか。曲数を減らして完成度を上げるか、たくさんの曲に触れさせたいのか。なぜ3曲なのか。

授業者：歌わせる時間が多いので、歌詞の意味や要素から、様々な視点から考えてもらいたい。強弱、歌詞と強弱、めあてから生徒自ら考えてほしい。

3曲しているのは、市の音楽会があることと、3年生では「大地讃頌」を歌える力をつけて欲しいと思い、合唱コンクールの課題曲に設定したため。自由曲も含め、3曲となっている。

完成度は低いですが、多くの曲に触れさせる、6/8拍子に触れさせる、力をつけさせることを目的とし、学年の始めに説明してある。

司会者：たくさんのご意見をありがとうございました。

岐 陽：本校は市の音楽祭は全校合唱。全校合唱の曲と、クラス合唱の曲の2曲に取り組んでいる。音

楽科で指導案を作り、全教員で研修をするほか、クラス合唱の曲は担任が指導案を作り、道徳で扱うなどして、音楽の時間だけでなくクラスでも曲を深めている。そうすることで、全校合唱もまとまってくる。

授業者：先ほどの質問に答えていなかったの。

生徒がつぶやけるしくみは、ざっくばらんに話せる関係にあるからだと思う。最初は歌わなかったが、世間話をしたりするうちにお互いのことがよく分かってきた。音楽のことに限ってはつぶやいても大丈夫という安心感があるのだと思う。

梅 光：先生の思う「意味をとらえて歌う」とはどういうことなのか。なぜ題名が「初心のうた」なのか。子どもたちに体験して欲しいメッセージ性とは。

授業者：「殺し屋」、「国の仕組み」などの恐ろしい歌詞。日本とアジアの現状を社会などで習い、明るい未来を考えるため、将来の自分のため、社会に出ていく自分を見つめ直すためだと感じている。

梅 光：授業での質問は先生の意図にたどり着くように。流れを計画する。今日の質問は漠然としている。先生の思いがもっとはっきりすると良い。

週1の授業で、私は歌曲を2時間で仕上げる。毎時間が研究授業。自分は明確な答えを持って、生徒にどんどん質問を投げかける。「なぜここに mf」、「作曲者はなぜ・・・」そして、「だから」という結論に持っていく。1曲に何時間もかけるのも1つの方法だが、発声、強弱などリンクしてするのも良いと思う。

附属光：子どもの感覚的なこと、要素などを言語活動に。歌唱の時は合唱形態の方が声がそろって歌いやすいし、聴き合えると思う。

最後に生徒から欲しかった言葉はなんですか。

授業者：「自分たちの未来を見つめ直す曲ですね」が出てくればうれしい。

高千穂：席替えを検討してみてもは。

授業者：時間がなかった。

高千穂：生徒のつぶやき、発言はリーダーに発言力があり、牛耳られる。

下 松：生徒のそういう発言は、授業の方向を変えられる時があるので無視する。相手もほどほどが良い。

今日の授業のことでは、活動場面がもっと多い方が良い。

大曲を3曲しているが、音楽以外の時間は？→学年音楽（総合など）

全校合唱は？→していない

伊 佐：先生（授業者）は責任感があるので、全て自分でされているのかもしれないが、私は他の教科の先生に任せる。音楽科では気付かないこともあるので。

小 野：プレの時と比べ、あてるグループの発表を減らし、改善が見られた。生徒には歌いきったと思っしてほしい。もっと時間をかけられれば良い。

クラス数が多く、比べながら進めていくことができるのは幸せだと思う。音楽にひたれる喜びを伝えること。少ない時間を楽しんで。

3 講 評

山陽小野田市立高千帆中学校 校長 松浦 美彦

我々、音楽教員は音を通して表現する。パワフルで、引っ張る力がある人が多い。仕上げは合唱コンクール。内容が盛りだくさんなので、もっと歌う時間を確保する必要がある。そして、音楽好きの子どもを育てることが大きな目標であり、子どもがふと思い出し、口ずさむことが理想である。また、本物の体験も大事である。

音楽教員の減少により弱体化し、授業時数の減少で専門性が発揮できないでいる。音楽科の管理職が少ないことで理解がなかなか得られず、牽引できない。それは、各県の課題であり、問題も山積している。

音楽教員の地位向上のためにも、学校のために率先して働き、頼みづらい人にならないように何でもやること。そして、なくてはならない存在になることが大事である。